



10月25日 前祭

司会：若谷佳美（朗読家・フリーアナウンサー）

- 演奏（25分） 一絃須磨琴保存会のみなさん 語り：若谷佳美
「須磨」「須磨の秋」「青葉の笛」 朗読 敦盛
- 彫刻（10分） 平賀茉莉（彫刻家） アートパフォーマンス
彫刻展「花散心養」 アートパフォーマンス「一朝の花は遠代の光」
- 講談（30分） 旭堂南海（上方講談師）
「熊谷と敦盛」「一ノ谷戦い」より
- 演奏（25分） 正司円（ヴァイオリン）、三井菜奈生（チェロ）のコンサート
ヴィヴァルディ作曲「四季」より 秋 ドビュッシー作曲「ベルガマスク組曲」より 月の光
日本の秋の名曲たち
- 鼎談（30分） 田邊真人 × 旭堂南海 × 小池陽人
物語が息づく「須磨」のこれから

11月8日 後祭

司会：富高由喜（フリーアナウンサー、元UX新潟テレビ21ニュースキャスター）

- 文楽（20分） 吉田光華（乙女文楽） 室井三紀（琵琶）
「滝口入道の恋」平家物語より
- 狂言（30分） 善竹隆司（大蔵流狂言）
魚説経（うおぜっきょう）
- 彫刻（10分） 平賀茉莉（彫刻家） アートパフォーマンス
彫刻展「花散心養」 アートパフォーマンス「一朝の花は遠代の光」
- 演奏（30分） 速海ちひろ（ハーブ・歌） 三好亮山（尺八）
組曲源氏より「明石」「荒城の月」ほか
- 法話（30分） 小池陽人寺務長
「一瞬一生 ころろ時間を生きる」

上記、プログラムは、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。



平賀茉莉 彫刻展によせて

平賀茉莉彫刻展『花散心養』は、アートと歴史の融合を図った展覧会であり「平敦盛 | 平家とその時代」をテーマとします。

『1. 創造性・変革・栄華 2. もののあわれ・士魂・史的潮流 3. 自然観・仏教における「空」の概念』など、須磨の地や当時の文化、社会システム、時代背景等々の世界観が平賀茉莉の視点で以って、コンセプト詩文や彫刻に投影されます。また本展は能「敦盛」の世界観にもリンクしております。

アートパフォーマンス「一朝の花は遠代の光」では、能管秘曲の音色と共に彫刻パーツをその場で組み上げながらラージスケールの金属彫刻を創出するライブスカルプチャーを披露いたします。さらに今回は平賀茉莉による能管生演奏も含まれた特殊演出となります。

※作品に関するお問い合わせは主催者にお尋ねください



●会期 | 10月25日(日)―前祭・11月8日(日)―後祭

●会場 | 大本山須磨寺 青葉殿講堂

●入場料 | 2部通し券 4000円（ネット及び初日に窓口販売）

前祭・後祭は各2500円（大人・子ども共通）

●入場整理料 | 全席自由 前列は前売販売

●開演 | 14時～16時（開場13時30分）

このイベントについてのお問い合わせは
090-8652-3647（担当）

URAGUTABI

ネット予約



山陽電車「須磨寺駅」下車8分
（大阪梅田から阪神電車直通）
大本山須磨寺境内 青葉殿 講堂

企画制作：矢下幸司（日本経済大学経済学部教授）